

海難事故の防止を誓う 新年虻田救難所出初式

1月6日虻田漁港荷さばき所で、日本水難救済会虻田救難所（高清水幸夫所長）の平成22年出初式が開かれ、今年1年の安全を誓い、永年勤続者の表彰を行いました。

長崎良夫監督官から「昨年は幸いにも大きな事故がなかったことは、皆さんの努力の賜物です。今年も海難事故のないよう努めていただきたい」と訓示がありました。

来賓挨拶の後、高清水所長が「海難事故の無い、起こさないを肝に命じ、訓練に邁進していきます」と答辞を述べ、出初式を終了しました。永年勤続者の表彰者は次のとおり（敬称略）。

40年・佐藤 博・三島清六・三島清治 30年・三島三樹雄 20年・阿部豊・小山紳一・内海裕靖・阿部重徳・藤野幸治・内海雅仁



今年の安全を誓う新年虻田旧難所出初式

家の中で雪あそび 雪の結晶のマイバッグ作り楽しむ

1月16日洞爺湖ビジターセンターが主催する「お家の中で雪遊び！」が、同センターで開かれ、雪の結晶を作る実験やバッグの製作を行い、参加した親子らは楽しい時間を過ごしました。

同センターの藤井安澄さんの指導で、糸をたらししたペットボトルをドライアイスを使って冷却し、糸の先にすこしづつできてゆく雪の結晶を、観察しました。



雪の結晶の型作りに取り組む参加者

引き続き、雪の結晶の型を作って、それをアクリル絵の具でプリントし、布製のマイバッグを完成させ、出来栄に満足した様子でした。

洞爺湖町成人式が1月10日、役場防災研修ホールで行なわれ、参加した94人は、自覚を胸に大人へ大きな一歩を踏み出しました。

式典では、長崎町長が「今日から自分たち一人ひとりが、社会に参画するのだという意識をしっかりと持ち、国民として、国や道、町が抱える課題と向き合ってほしい」と新成人を激励しました。

来賓の祝福に込めて、後藤有羽香さんと齊藤のぞみさんが「社会に貢献することを誓います」と20歳の誓いを読上げました。

式典終了後には、祝賀会が催され、×ゲームや商品券などが当たる抽選会で、大いに盛り上がりました。



喜びいっぱいの新成人ら

洞爺湖町成人式 大人への自覚胸に新成人集う

洞爺湖名物を創作 地場産材料のアイデア料理試食会

洞爺湖温泉誕生100年記念事業委員会（若狭洋市長）は、2月6日に開かれる同オープニング記念式典で提供する料理の試食会を、1月19日洞爺湖文化センターで開きました。洞爺湖名物の誕生が狙いで、参加した生産者や住民ら約80人は、多彩なアイデア料理に感心した様子でした。

この日のメニューは、農業生産法人神内ファーム21が花和地区で生産しているあか牛、洞爺地区で収穫された野菜、虻田漁港で水揚げされたホタテ、高級魚マツカワなど洞爺湖周辺地域産の材料を使って各ホテルや飲食店の調理人が仕上った35品。「牛肉のやわらか煮」や「マツカワの根菜汁」



おいしそうな創作料理が並んだ試食会

など試食した住民らは、「肉がやわらかい」「なべでもマツカワはおいしい」など好評を博していました。

まちのわだい

